公益財団法人大塚敏美育英奨学財団

【応募資格】

・大学院正規課程に在学し、経営学（発展途上国の留学生は「経済分野に焦点をあてた国際関係学」も対象）に関連する分野を研究するもの

※経営学に関連していれば経済学、データサイエンスに関連する研究をしているものも応募可

・2027 年 4 月 1 日時点で 38 歳以下の私費留学生

・他の奨学金との併給は不可

・過去に大塚敏美育英財団の奨学生の者、または応募し不合格になった者は対象外とする（直接応募は可）

・標準修業年限内での修了が認められない者

【年額】

200 万円、150 万円または 100 万円（財団の評価に応じて決定）

【支給期間】2027 年 4 月～2028 年 3 月（1 年間）

【推薦人数】1 名（継続申請可）

【応募書類】★ **申込締切：11 月 4 日（水）**

・奨学生願書〈経営系〉すべて手書き※写真添付

・成績証明書（過去 1 年分）

※直近のものが半年分の場合はその前年のものを提出

・在学証明書

【学内選考】GPA 判断

【提出先】　国際交流課

2027年度募集要項(大学推薦)

奨学金制度の概要

1)奨学金給付額

年額200万円、150万円または100万円

※当財団選考委員会による評価に応じて決定。他奨学金との併給不可。

※特に研究成果及び品行の優れた継続申請者(若干名)に年額250万円の給付を行うことがあります。

※学業成績が不良のとき、また法律を犯す行為だけでなく、倫理・道徳観念上、学生として不適切な行為があった場合は、給付額の減額または給付停止となることがあります。

2)奨学期間

1年間(2027年4月～2028年3月)

※奨学期間中、所属大学に在学していることが条件です。なお、奨学期間は1年間ですが、継続申請を認めます(奨学期間は最長、最終目標とする学位取得までの最短修業年限まで)。

※秋入学秋卒業の2026年度奨学生で、2027年秋に修了予定の人(かつ進学しない人)は半年間の継続申請をすることができます(標準修業年限内に修了する者に限る)。継続申請者と同様に申請書類を提出してください(給付額は「奨学金給付額」の年額の半分)。

3)申請者の区分

1．新規申請者：当財団から奨学金の給付を受けたことのない者

2．継続申請者：当財団から過去に大学推薦により奨学金を給付された者

※継続申請は2026年度に成果・進展のあった者に限り認めます。

※過去に応募した際の願書を書き写した者は不採用とします。

4)給付停止の要件

1．退学したとき

2．奨学生が休学、又は長期にわたって欠席したとき

3．奨学生が原級にとどまったとき、又は修了延期の恐れが生じたとき

4．けが、病気などのため成業の見込みがなくなったとき

5．学業成績又は性行が不良となったとき

6．奨学金を必要としない理由が生じたとき

7．上記のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

8．在学校で処分を受け、学籍を失ったとき

9．その他奨学生としての資格を失ったとき

推薦対象者の資格　※書類選考、面接、内定、認定式の時点で日本国外にいる人は推薦できません。

※以下の分野でデータサイエンスに関連する研究をしている人も対象です。

※(医歯薬学系/工学系のみ)進学を希望する博士前期課程2年生が採用後に進学しない場合は採用が取り消されます。

【医歯薬学系】

・博士後期課程に在籍する者及び博士後期課程への進学を希望する博士前期(修士)課程2年生(2027年4月時点)

【工学系】

・博士後期課程に在籍する者及び博士後期課程への進学を希望する博士前期(修士)課程2年生(2027年4月時点)

・人間医工学・生体材料工学、人間支援工学・医療福祉工学、生命情報学・計算科学、創薬に関わる研究等、医学・薬学に関連の深い分野の研究をしている者(研究分野の詳細はQ&Aをご覧ください)

※医学・薬学との関連(学会発表、論文などの実績を含む)が願書に明記されていない場合は選考対象外

【経営系】

・博士前期(修士)課程及び博士後期課程に在籍する者

・研究科にかかわらず、経営学に関連していれば経済学など幅広い分野が対象

・経営学の基盤ができていない発展途上国出身の留学生については「経済分野に焦点をあてた国際関係学」も対象に含む

(1) 2027年4月1日時点で満38歳以下の私費留学生(在留資格が「留学」の者に限る)

(2) 当財団が指定する大学院の正規課程に在学する者

(3) 過去に大学推薦または直接応募で当財団に応募し不合格になったことがない者

(4) これまで直接応募で当財団の奨学生として採用されたことがない者

(5) 向学心に富み、学業優秀であり、品行方正である者

(6) 独自性のある研究、革新的な研究に携わっている者

(7) 財団に提出する書類(応募書類を含む)に対して指導教員などのしかるべき指導、チェックを受けられる者

(8) 奨学期間中に合計40日以上(出発日を含む)日本を離れない者
(9) 国際的視野を持ち、日本と各国の架け橋としてリーダーシップを発揮できる者
(10) 学資の支弁が困難と認められる者
(11) 当財団のイベントや奨学生のネットワークに積極的に参加し協力できる者
(12) 日本語を学ぶ意欲のある者
※英語で書かれた願書も受け付けますが、願書及び面接において日本語への意欲が見られない場合は減点します。
(13) 研究成果をもって社会貢献を期する者
(14) 上記(1)～(13)の資格及びその他当財団の定める条件を満たす者
※標準修業年限内での修了が見込めない者は推薦不可
※授業が夜間・週末の人、通信制の人は推薦対象外
※同じ研究室からの推薦は1人のみ

応募方法

申請サポートシステムを導入しています。願書他の「Web提出」と「郵送」の両方の手続きが必須です。

1)応募方法　※詳細は4ページの「申請の流れ」をご覧ください。

1. https://otsuka.yoshida-p.net/suisen/より申請サポートシステムへ入り、「申請の流れ」に従って基本情報を入力の上、PDFにした願書(推薦状は除く)、成績証明書、日本語訳(英語で願書を記入した場合のみ)をWeb提出してください。指定されていない書類(論文など)はアップロードしないこと。
※推薦状を除く願書の全ページ(写真のあるページはカラー)がアップロードされていない場合は選考対象外となります。
※Web提出する願書にも必ず写真を貼付すること。
※願書は必ずスキャンしてPDFにすること(アプリなどで写真をPDFに加工したものは不可。横向き不可)。
※入力した基本情報と願書の内容に差異がある場合は選考対象外となります(特に氏名と研究タイトルに注意)。
Web提出のやり直しはできません。よく確認の上、提出ボタンを押してください。
2. Web提出後に通知される受付番号を指定の5ヵ所(「申請の流れ STEP04」参照)に記入の上、応募書類をまとめて大学の担当者に提出してください。推薦状の入った封筒にも受付番号を書いてください。
3. 大学のご担当者は以下の応募書類を取りまとめの上、事務局宛に郵送してください。
※Web提出した願書と郵送した願書に差異がある場合は選考対象外となります。
※提出された書類は、当財団の事業を遂行する目的以外には一切使用しません。
※応募書類は返却しません。
※必ず大学を通じて応募してください。応募者本人からの直接の問い合わせ、応募は受け付けません。

【送付先】　〒540-0021　大阪府大阪市中央区大手通3-2-27　大塚グループ大阪本社ビル
公益財団法人大塚敏美育英奨学財団　事務局

2)応募書類

1. **該当の奨学生願書の原本**(A4サイズで片面印刷した当財団指定用紙を使用し、ホチキス留めはしないこと)
※推薦状以外の書類はすべて応募者本人が日本語または英語で手書きすること(黒インクのペンを使うこと。消せるペン・青インクのペンは使用不可、タブレット端末等で記入し印刷した願書は不可、記入にあたりChatGPT他の生成AIツールを一切使用しないこと)
なお、英語で書かれた願書も受け付けますが、日本語訳の添付が必須です(日本語訳の不備、字数制限のある項目に対して日本語訳に字数が明記されていないものは選考対象外)。英語で願書を提出する場合は日本語訳についてのQ&Aを必ず参照してください。
※継続申請者は過去に応募した際の願書を書き写さないこと。前回の記述を一部でも書き写した者は選考対象外。抱負や研究内容に変更がなかったとしても、必ず新たな表現で書き起こすこと。
※指導教員、大学担当者の適切なチェックを経ていないと思われる応募書類(願書の内容及び日本語訳を含む)を提出した者は選考対象外とします。
2. **推薦状**(推薦者が自筆で署名の上、密封して提出すること。推薦状が英語の場合、日本語訳の添付が必須です。)
※博士課程の学生を推薦される場合、学位論文の指導資格のある方、学位論文の完成に責任を持つ方からの推薦状が必要です。
※願書の1ページ、医薬系の「研究についての追加情報」のページ、推薦状の指導教員は同一にすること。
3. **写真1枚**(4.5×3.5cm、カラー、胸から上、正面で、応募前6ヵ月以内のものを願書に貼付のこと。アプリなどで加工・修正した写真は不可)
4. **成績証明書**(履修科目、単位数、点数、評価及びその説明のあるもの。合格、不合格の評価のみのものは不可。段階評価又は点数評価された直近の年のものを送付すること。成績が出ない旨の証明書は不可。日本語学校や専門学校のものは不可)
※成績証明書は1年分必要なため、直近のものが半年分の場合はその前年のものも添付すること。

5.在学証明書(日本語で書かれた募集開始日以降のもの。コピー不可)
6.住民票の写し(募集開始日以降のもの。コピー不可。「国籍・地域」「在留資格等」が省略されたもの不可。マイナンバーが記載されたもの不可)
7.奨学生願書及び成績証明書のコピー4セット
※「1.奨学生願書」及び「4.成績証明書」をA4サイズで片面コピー(写真貼付の願書1枚目のみカラー)したものを1セットとして、4セット同封すること。なお、ホチキス留めはしないこと。
8.論文のコピー4セット(該当者のみ)
※出版済みの論文がある場合はそのコピーも4セット同封すること(両面コピーでホチキス留めし、自分の名前に赤ペンで下線を引くこと)。
※論文の右上に受付番号とカタカナで名前を書くこと。
※継続申請者は、昨年提出した論文は提出不要です。

3)締切日
Web提出：2026年10月1日（木）9時～11月19日（木）17時
郵　　送：2026年11月24日（火）15時(事務局必着)

選考、採用及び奨学金の給付について

1)選考
国籍の多様性、願書から感じられる熱意や貢献意識、研究の新規性や意義、日本語の学習意欲等も重視して選考を行います。選考は書類選考と面接によって行い、採用は選考委員会を経て理事会で決定します。
なお、面接は大阪または東京で2027年1月末～2月中に行います(予定)。

2)採用
3月末日までに採否を大学に通知します。
採用された場合、当財団指定の「確認書」の提出及び2027年7月23日(金)、24日(土)に開催する当財団認定式への出席が必須となります(半年間の継続申請採用者も同様です)。確認書提出後は、他の奨学金等を受給する目的で当奨学金を辞退することはできません。

3)奨学金の給付
原則として年額を2回に分けて、8月と12月の一定日に本人名義の口座に直接振り込みます。
また、研究や日本語学習、国際理解に役立つ本を買う費用として図書費を給付します(金額は1万円程度を予定しています)。図書費で購入した本の読書レポートを提出していただきますので、予めご了承ください(11月頃予定)。
※半年間の継続申請採用者の奨学金の給付時期は別途定めて該当者に連絡します。図書費の給付は行わない予定です。

4)定員
2027年度：100人

奨学金の特徴

(1) 奨学金は給付とし、返済の義務はありません。(虚偽の申告など重大な違約があった場合を除く)
(2) 奨学生の卒業後の就職、その他一切については本人の自由とします。

奨学生の義務

奨学生は以下に定める義務を履行する必要があります。
(1) 奨学生は、募集要項に規定された内容を遵守し、資格条件に抵触することがあれば速やかに届け出ること
(2) 次のいずれかに該当する場合は、直ちにその旨を代表理事に届け出ること
　1．休学、復学、転学又は退学したとき
　2．停学その他の処分を受けたとき
　3．氏名、住所その他重要な事項に変更があったとき
　4．留年又は修了延期の恐れが生じたとき
(3) 以下の書類を代表理事に提出すること
　1．在学証明書及び生活状況報告書
　2．成績証明書
(4) 当財団主催の行事に参加すること
(5) 奨学期間終了後も定期的に当財団に近況を報告し、卒業生のネットワークに参加すること

過去に奨学生だった人は、過去の受付番号をすべて書いてください。
例：No.26-S1、No.25-S2、No.24-S3

学 生 願 書
＜医薬系＞

※受付番号を記入
番号がないものは選考外

（継続申請者 No.26 － S　　）半年間の継続希望

写真貼付のこと

願書を書いた日付を西暦で書いてください。

公益財団法人大塚敏美育英奨学財団
代表理事　大塚　一郎　殿　　月　　日

貴財団の奨学生として採用を希望します

秋入学、来年の秋卒業の2026年度奨学生※で、半年間の継続を希望する人はここに〇を付けてください。
※標準修業年限内に修了し、かつ進学しない人のみ対象

①	フリガナ			歳
	氏名		男	
	アルファベット表記			日
	母国語表記		国籍	
	Fa	，First name（名）　Middle name		

ここに書いたフリガナを申請システムの基本情報入力のフリガナ欄に入力してください。

応募時の、（数え年ではなく）満年齢を書いてください。

母国語で自分の名前を書いてください。

該当する研究分野に〇をつけてください。

② 分野（該当するものに〇を記入）	医学　・　歯学　・　薬学　・　工学		
③ 所属機関	大学院名／機関名	学部・研究科	学科・専攻
	学年（該当する		指導教員名
	博士前期（修士に該当） 博士後期（博士に該当） （4年制/5年制）博士課程		
	日本への入国年月	入学年月	卒業・修了予定年月
	月	年　月	年　月

留学のために最初に入国した年月を書いてください（一時的に帰国して再入国した入国年月ではありません）。

④ 学歴及び職歴（兵役も含む）	月	学歴（母国の最終学歴から記入）・職歴	
	～		

Q&Aの記入例を見て、空白期間がないように、母国の最終学歴から現在までの経歴を上から順に書いてください（日本語学校や職歴を含む）。

学部・研究科、学科・専攻も書いてください。

⑤ 外国人留学生担当部署及び担当者名	外国人留学生担当部署	担当者名
	課・センター	（フリガナ：　　）
	担当部署（担当者）の連絡先電話番号	担当者メールアドレス
	―　　―	

⑥ 本人現住所	〒　　－		
	最寄り駅（徒歩圏内に駅がない場合は最寄りバス停）	線　　駅（バス停）	
	自宅　・　学寮　・　アパ	〕	

最寄りの駅の路線と駅名を書いてください。
自宅⇔駅が離れていて歩ける距離ではない人は、利用するバスの路線とバス停を書いてください。

⑦ 母国の住所	〒　　－	
	TEL.　　－　　－	

⑧家族構成（父母・配偶者・子・兄弟姉妹）

氏　名	続柄	年齢	勤務先/学校名	自宅住所
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.
				TEL.

⑨ 配偶者の収入	※以下は配偶者がいる場合のみ記入	
	配偶者の奨学金受給の有無	有　・　無
	支給団体名： （月額・年額　　円 / 受給期間：　　年　　月 ～　　年　　月）	
	給与（アルバイト等も含む）	円/月　（職種：　　）

⑩	生活費	家賃	生活費（食費・光熱費等）※授業料・家賃は除く
			円/月
⑪	収入等	レバイト、TA、RA等）	
		有 ・ 無	） 時間/週 ）
		有 ・ 無	）
		有 ・ 無	名称: 月額・年額　　年　月 ～　年　月）
		その他収入（児童手当、貯金の取り崩し等もここに書くこと）	
		円/月　（内容・　　）	
⑫	授業料減免	現在	ない
		来年4月～の状況	不合格 申請予定なし ・ 授業料免除制度なし ・ 制度はあるが申請資格なし
⑬	学業面	週に何日授業がありますか？	（ 対面・オンライン・両方 ）　日
		主に授業がある/研究をするのはいつですか？	昼間 ・ 夜間 ・ 半々
		週に何日通学しますか？（授業・研究を含	日
		担当教員とは週に何回面談しますか？	回
		平均して何時～何時ま　研究室）にいますか？	時 ～　時
		有	～　年　月）
		過去の	／ 受給期間
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	
⑭	現在の奨学金・研究助成金併願状況	申請先 ／ 申請中・確定 ／ 月額・年額（○で囲む）	
		名称: （申請中・確定 ／ 結果発表:　月　日） （月額・年額　　円 / 受給　月）	
		名称: 日） （月額・年額　　円 / 受給期間　年　月 ～　年　月）	
⑮	過去の奨学金受給実績（当財団の実績も記入すること）	名称 ／ 月額・年額（　囲む） ／ 受給期間	
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	
		名称: （月額・年額　　円 / 受給期間:　年　月 ～　年　月）	

家賃や授業料を除いた毎月の生活費を書いてください。

ここには毎月の収入と支出を書いてください。家賃や生活費を払っているのに収入がないなど、どのように生活費をまかなっているのか読み取れない場合は選考対象外です。貯金を取り崩して生活費にあてている場合は「その他収入」欄に書いてください。

現在と来年4月以降の減免状況を書いてください。あてはまるものがない場合は、空いているところに現状を書いてください。授業料には1年間の通常の授業料を、自己負担額には自分が負担する授業料（例：前期〇〇円、後期未定）を書いてください。自己負担額が未定の人は「未定」と書いてください。

どのように授業を受けているか〇をつけてください。

【経営系の申請者のみ】
研究テーマについて相談したり、指導をお願いしている指導教員や他の教員と、週に何回くらい面談するか書いてください。

過去に受給していた奨学金のうち、直近の奨学金を2つ書いてください。

※アルバイト等の収入や研究助成金の受給は合否に影響はありません。ただし収入と支出の明細が記入されていない、又は合理性に欠けると判断される場合は選考対象外となりますので、現状を正確に記入してください。

㉑ 研究について、この1年の進捗と来年の研究計画

昨年からの進展、研究目標の達成状況、来年の研究計画※について、失敗したこと、難しかったことを含め具体的に書いてください。

※半年間の継続を希望する人は「修了までの研究計画」

1ページ目

研究タイトル

半年間の継続を希望する人は、昨年からの進展、研究目標の達成状況、修了までの研究計画について書いてください。

句読点を含めて800字以内で具体的にまとめること。（字数制限を超

。）

400

460字(次ページへ続く)

● 2026年11月から2028年3月までの期間で学会発表、論文投稿の予定があればそれぞれ箇条書きで記載してください。予定がない場合は「なし」と記載の上、提出のこと。予定の有無にかかわらず、右の欄に指導教員から確認の署名をもらうこと。このページの提出が場合は選考対象外。

指導教員署名欄

＜発表の場合＞
応募予定の国内学会/国際学会、 有無、予定の発表タイトル、学会名、開催日、場所、口頭発表/ポスター発表を書いてくださ

＜投稿済の論文が既にあり
和文誌/英文誌名、投 を書いてください。（論文誌

＜これから論
投稿予定の和 線を引くこと）、論文

※国際学会、英文誌

【医薬系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の予定がある人は、
それぞれ箇条書きで書いてください。
予定がない人は「なし」と書いてください。
予定の有無にかかわらず、必ず推薦状を書いていただいた指導教員（願書の1ページに書いた指導教員も同じであること）からサインをもらってください。このページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。

例1） 国内学会、査読あり、「発表タイ 、神戸、口頭発表

例2） The Journal of ○○, 2026 Dec, Author1/Author2/Author3, □□ of △△ Disease, Under Review

● 学会発表、論文投稿等の実績と予定

※学術誌論文の場合は「著者名」「タイトル」「雑誌名」「巻」「掲載ページ」「発行年（西暦）」「査読の有無」「掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）」を書いてください。著者が複数の場合は全員記入し、自分の名前に下線を引くこと。

※投稿済で結果が未定のものについては、投稿した年月を記載し、（投稿中）と明記してください。

※学会の場合は「国内学会/国際学会」「学会名」「口頭発表/ポスター発表」「発表タイトル」「発表年月日」「場所」「査読の有無」を書いてください。

2026年11月までの実績をすべて記入してください。誌名等の詳細は下の詳細欄に箇条書きで書いてください。このページが抜けている場合は選考対象外。

例） 国内学会、「学会名」、ポスター発表、「発表タイトル」、2026年9月6日、仙台、査読なし

【経営系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の実績がある人は、箇条書きで書いてください。
実績がない人は「なし」と書いてください。
実績がなくてもこのページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。

願書記入日以降～2027年の予定を記入してください。学会の場合は「応募中か採択済か」、論文の場合は（投稿予定）と書いてください。（投稿を予定している年月も書くこと）

例1） 国内学会、「学会名」、口頭発表、「発表タイトル」、2027年2月14日、大阪、査読あり（応募中）

例2） 名前1、名前2、「△△についての検討」、査読なし（2027年1月投稿予定）

【経営系の申請者のみ】
学会発表や論文投稿の予定がある人は、箇条書きで書いてください。
予定がない人は「なし」と書いてください。
予定がなくてもこのページは抜かず、願書と一緒に（8ページと9ページの間に入れて）提出してください。